



秋厚労ニュース

いのちの大切さ再確認

秋厚労女性集会

6月16日(土)、秋田市のルポールみずほにて女性集会が行われ91名が参加しました。午前は「いのちの大切さ」の講座、午後は今話題の「ハーバリウムフラワー」を体験しました。



子どもが子宮モデルに入り生まれてきた様子

女性部では6・7月を「母性保護月間」に設定しています。目的は母性の大切さを考えること、体をいたわりながら働き続けるた

午前は秋田県助産師会の赤平敏子さん、柴田博子さん、谷口久美子さんによる『いのちの大切さ』出前講座活動報告でした。

県助産師会では平成13年から「いのち」についての出前講座を開始しました。今では市の教育委員会から依頼を受けています。対象は小学校高学年とその親。妊婦さんの協力を得て胎児心音を聞いたりもします。PTA行事に絡め、親

「生きていくだけじゃ100点満点」心に響く

親子で「いのち」を考えるきっかけ

午前中は秋田県助産師会の赤平敏子さん、柴田博子さん、谷口久美子さんによる『いのちの大切さ』出前講座活動報告でした。

うるつと涙も・・・

実際行っている講座同様、イラストを用いて受精から出産までを説明し、妊娠中の赤ちゃんの模型を抱いて重さを体験しました。赤ちゃんの模型を抱いた人からは「懐かしい」という声が続きます。出産のときを思い出し、うるつと涙を浮かべる人も。子ども連れの参加もあり、子宮モデルに実際に入り、生まれてくる場面を体験し、楽しみながら学びました。

いのちは数々の試練を乗り越え、お母さんのお腹の中で大事に育てられ、望まれて生まれてきたことが強調されました。そして最後に「生きていくだけで100

様々な権利を行使できるようにすることです。そのためには周りの理解、協力が必要。集会の講座もそのひとつとしました。



完成！どお～？

ハーバリウム体験

0点満点」という言葉で締めくくられました。

午後の手芸講座はハーバリウムフラワー。透明の瓶の中にプリザーブドフラワーなどを入れ、オイルに浸します。美しい色合いを長く楽しむことができます。

講師の木口睦子先生から丁寧に説明を受け、花とオイルを交互に入れていきます。みんなで同じく順番に花を入れても隙間や花の向きで同じものはありません。上質のベビーオイルを使用するため体にも安心です。参加者は「期待した以上に楽しめた」「リフレッシュできた」と満足した表情で会場をあとにしました。

参加した人の感想から

- * 反抗期の息子にもう少し、愛のある言葉をかけてあげようと思いました。とても感動しました。ウルウルしていました。
- * いのちはたくさんの奇跡が重なって、この世に誕生するんだということを再確認できました。子どもたちの出産のときを思い出すと、今でも感動した気持ちがよみがえります。これからもそのことを子どもに伝えていきたいと思います。
- * 家族にも聞かせたいと思いました。助産師さんたちの努力は素晴らしいですね。
- * 「生きていくだけで100点満点」で涙が出るほどうれしかった・・・ジーンと心に響きました
- * 初めてのハーバリウム、なかなか思うようにいかなかったですが楽しかったです。木口先生サイコー!!